

51 「予防・予察」に重点を置いた新たな総合的病害虫管理体系の確立

【令和4年度予算概算要求額 みどりの食料システム戦略推進総合対策 3,000 (一) 百万円の内数

消費・安全対策交付金等 2,879 (2,281) 百万円の内数】

<対策のポイント>

効果的な病害虫防除による生産力の向上と、環境負荷の軽減を通じた農業生産の持続性の確保の両立に資する、総合的病害虫管理※を推進していくための取組を支援します。

※化学農薬のみに依存せず、病害虫が発生しにくい生産条件の整備（予防）や病害虫の発生予測（予察）を組み合わせた病害虫管理

<政策目標>

- 化学農薬の使用量（リスク換算）の50%低減〔令和32年まで〕
- 「予防・予察」に重点を置いた新たな総合的病害虫防除体系の確立による、生産力の向上と農業生産の持続性の確保の両立

<事業の内容>

1. みどりの食料システム戦略推進総合対策のうちグリーンな栽培体系への転換サポート

3,000 (一) 百万円の内数

農業生産現場における総合的病害虫管理の推進に必要な土壌くん蒸剤の代替技術等の産地に適した技術の検証、栽培マニュアルの策定等の取組を支援します。

2. 食料安定生産に資する新たな病害虫危機管理対策・体制の構築事業のうち病害虫発生予察・防除体制の高度化事業

96 (71) 百万円の内数

① ドローンによるセンシング、IoT等の活用により、幅広い地域の病害虫情報を迅速に収集し、AIを活用した発生予測シミュレーションモデルを用いて精度の高い発生予察を行うとともに、民間の情報提供アプリ等との連動により、必要な農業者に迅速に情報を発出するための取組を支援します。

② 新たに開発された防除技術を組み入れた全国的に活用可能な総合的病害虫管理の技術体系を確立するため、複数県で連携して行う技術試験を支援します。

3. 総合的病害虫管理の普及のための指導者の育成

2,783 (2,210) 百万円の内数

総合的病害虫管理の普及のため、指導者の育成に必要な研修・講習等の実施を支援します。

<事業の流れ>

国

交付 (定額)

都道府県

委託

協議会

交付 (1/2以内)

民間団体等

都道府県等

(1の事業)

(2の事業)

(3の事業)

<事業イメージ>

「予防・予察」に重点を置いた新たな総合的病害虫管理体系の確立

(例) 土壌くん蒸剤の代替技術の導入

連作により土壌くん蒸のみでは抑えられない土壌病害の常発

技術の検証

・緑肥の導入
・輪作・休耕の実施
・土壌還元消毒の利用等

栽培マニュアル(栽培層、防除層)の策定

土壌くん蒸剤の低減

病害虫発生予察・防除体制の高度化

・ドローン、IoT等を活用することで情報量を充実

ドローン、IoT等を活用した情報収集

APIによる民間サービス等への情報発信

・AIを活用した発生予測シミュレーションモデルにより、発生予察を迅速化・精緻化

シミュレーションモデルによる発生予測

迅速・精緻な発生予察情報の提供

・複数県で総合的病害虫管理による防除体系を検討・確立する体制により、新技術の現場への普及を加速化

A県

B県

C県

新規天敵の活用

薬剤抵抗性を獲得しにくい新規農薬

AIによる土壌病害診断技術

生産力向上と農業生産の持続性の確保の両立